


—学生自らが知見・主張を発信する社会実践プロジェクト—
【11年連続】今回は2作品がACジャパン広告学生賞を受賞！

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、社会実践プロジェクト*の一つ「ACプロジェクト」において学生が制作した作品を「ACジャパン広告学生賞」（公益社団法人ACジャパン主催）へ毎年応募しています。2018年度はテレビCM部門において『その言葉セカンドレイプです』と『いきたい』の2作品が優秀賞を受賞しました。本学の社会実践プロジェクトの作品が入賞したのはこれで11年連続となります。

***社会実践プロジェクトとは？**

武蔵大学が学生の自主活動を支援する授業外のプロジェクトです。学生が主体となって企画・立案し、ゼミで学んだことを実践。単に社会と関わるというスタンスを越えて、社会に向けて自らの知見や主張を積極的に発信してこうという想いで活動しています。

第15回「ACジャパン広告学生賞」優秀賞 受賞作品について
【その言葉セカンドレイプです】

制作スタッフ：社会学部メディア社会学科3年／藤本 勇気
 社会学部社会学科3年／竹中 杏奈
 経済学部経済学科3年／小林 新
 人文学部英語英米文化学科3年／福嶋 賢人
 経済学部金融学科3年／松原 一樹


この作品について

2018年6月にイギリスのBBCが伊藤詩織氏に密着取材したドキュメンタリーを放映しました。その頃から、日本におけるSNS等での被害者に対する誹謗中傷が目立つようになり、テーマに取り上げたいと思っていました。また、もう一つこの作品を作るきっかけになったのは、以前性暴力を受けた友人に対し軽はずみな言葉を掛けてしまったことがあり、私自身がセカンドレイプを行ったのではないかという、後悔の念からでした。セカンドレイプは、性犯罪・性暴力の被害者が更なる心理的社会的ダメージを受けることです。作品のベース映像にはそれを象徴するかのような、真つすぐにこちらを見ている女性、セカンドレイプによってダメージを受け声を上げられない女性の姿を描きました。難解なテーマながら、予想以上に周囲の評判が良く光栄に思います。作品を通して、この問題に少しでも関心を寄せて頂ければ嬉しいです。

（コメント：チーム代表・藤本 勇気）

【いきたい】

制作スタッフ：社会学部メディア社会学科1年／榎 梨紗子、伏野 美穂

この作品について

近年、いじめや家庭内暴力により子どもが命を落とす事件が多く見られますが、周囲の大人が子どもの異変に気付くことができれば最悪の事態を防ぐことができます。「生きたい」という生理的欲求さえ満たされない子どもが存在することを、他人事ではなく身近に感じて、子ども達の命のために行動してほしいという思いを作品に込めました。



多くの人にメッセージ届けられるCMというメディアを、自分の手で作り、評価されるということは良い機会をいただいたと思います。また他の受賞作品からも学ぶことが多く、今後の大きな糧となります。これからもメディアを通してメッセージを発信することに挑戦していきたくです。

（コメント：チーム代表・榎 梨紗子）

—本件に関するお問い合わせ先—

武蔵大学 広報室

TEL : 03-5984-3813 FAX : 03-5984-3727 E-mail : pubg-r@mml.sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1